

# (1) 授業実践 中学校 1 年生 「『誕生』に学ぶ」

- 1 主題名 郷土を愛する心【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】
- 2 教材名 「誕生」(池田 学 2016 年 紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm)  
(出典：池田 学 『The Pen』 青幻舎)  
「明日世界が終わるとしてもーペン 1 本まだ見ぬ頂へ～画家・池田学～」(NHK)

## 3 教材の内容

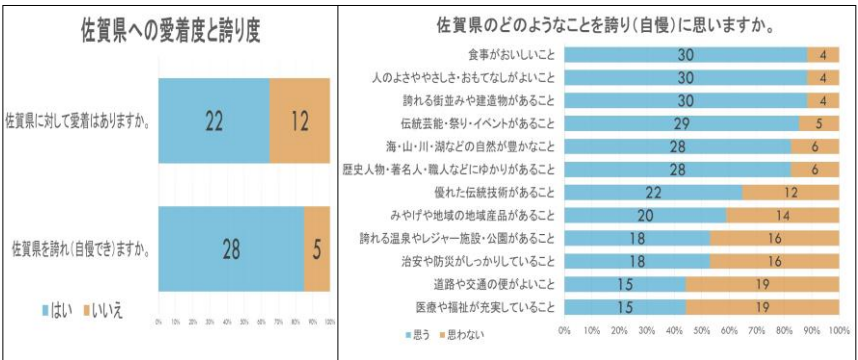
本時は、佐賀県多久市出身の画家、池田学さんの作品「誕生」と、その制作過程を追ったNHKのドキュメンタリー番組を教材とした。アメリカのウィスコンシン州で「誕生」を制作していた池田さんは、制作に行き詰まったときに趣味の釣りに行き、郷土である佐賀の自然を思い出す。

## 4 ねらい

池田学さんの生き方から、池田さんの「佐賀愛」を感じることで、自分にとっての「佐賀愛」を考え、佐賀の発展のために自分が寄与しようとする実践意欲を育む。

## 5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 生徒の発言(・) 補助発問(●)
自己を見つめる  自己の考えを広げ、深める	1 佐賀のイメージを確認する。  ◆佐賀のイメージを膨らませるため、事前アンケートの結果を紹介した。	○佐賀はどのような所ですか。 ・おいしいものがたくさんある(佐賀牛、のり)。 ・平和で災害が少ない。 ・歴史がある。
	2 「誕生」制作のドキュメンタリー映像を見る。 ◆映像を見せる前に「誕生」ポスターを見せ、作品から作者を想像できるようにした。 ◆視聴させた後、制作に3年を掛けた大作であることを押さえるために、1日で制作できる大きさと実際の作品の大きさを比較できるようにした。	○この作品を描いた人は誰でしょうか。 ・池田学さん ○どのような人なのか映像を見てみましょう。 ●池田さんは何を使って絵を描いていましたか。 ・ペンとインク ●1日にこぶし大の大きさしか描けません。何年掛けて制作したのでしょうか。 ・3年



↑ 1 日で制作できる大きさ (こぶし大)

→ 実際の作品の大きさ (3 × 4 m)



自己の考えを広げ、深める

3 池田さんの「佐賀愛」について考える。

- ◆あらかじめ道徳ノートに貼っておいた資料を範読した。
- ◆電子黒板に「心に残った池田学さんの言葉①」「心に残った池田学さんの言葉②」を提示することで、生徒が池田さんの「佐賀愛」に気付くことができるようにした。

【書く活動①】  
【話し合い】

- ◆      には生徒の発言した言葉を用いた。
- ◆ワークシートに生徒が自分の意見を書く時間を取った後、グループでの意見交流を設定した。その後、自分の意見を黒板にウェビングするよう指示した。

- ◆全体交流を通して、ウェビングに出た意見を分類した。  
オレンジ←佐賀に尽くす、大切、感謝、恩返し等  
黄色←佐賀の良さを絵で知ってもらいたい、佐賀のすばらしさやよさを知ってもらいたい等  
ピンク←故郷、自然を守っていきたい等
- ◆最後に、全ての意見を拾うために、残った意見にブルーで印を付けた。  
ブルー←思い出、大事な物等

○池田さんはどのような思いで、初の大規模個展を佐賀の美術館からスタートさせたと思いますか。

- ・自分の故郷だから。 ・自分にとってのスタート地点。
- それはどういうことですか。
- ・生まれ育った所
- ・色々な人に見てほしいから。
- 色々な人って、具体的にどんな人ですか。
- ・友達 ・佐賀出身の人 ・家族
- 池田さんのコメントからどんな印象を持ちましたか。
- ・(池田さんは) すごく故郷のことを思っている。



○池田さんは「誕生」をどこに所有してほしいと思っているでしょうか。

- ・佐賀 ・アメリカ ・(佐賀の) 自分の家
- 池田さんの佐賀に対する思いを一言で表すとどんなものですか。
- ・佐賀好き ・愛している ・佐賀への愛着 ・佐賀愛

○池田さんの「佐賀愛」はどのようなものでしょう。

- 意見交流をして自分の考えがまとまったら、黒板に書きましょう。



- みんなの意見を3色でグルーピングしました。オレンジのグループはどんな意見ですか。
- ・佐賀への感謝を表している。
- 黄色のグループについてはどうですか。
- ・佐賀を知ってもらいたい。
- 誰に知ってもらいたいですか。
- ・世界の人に！
- なるほど、感謝は郷土の人に対してで、それ以外の人に対してもということですね。それでは、ピンクについてはどうですか。
- ・佐賀のよさを守ったり、見付けたりすることかな。
- ブルーの意見(思い出、大事な物等)はどんなグループでしょう。
- ・池田さん自身のことについてじゃないかな。

4 自分にとっての「佐賀愛」を考える。

**【書く活動②】**

- ◆自分事として考えることができるように、総合的な学習の時間で郷土について学んだことに言及した。
- ◆書く視点として次の3点を示した。
  - ①これまでの自分のこと
  - ②池田さんの生き方から学んだこと
  - ③これからの自分がしたいこと
- ◆切実感を持って自分の「佐賀愛」について考えることができるように、「池田さんへのメッセージ」を書くという設定にした。

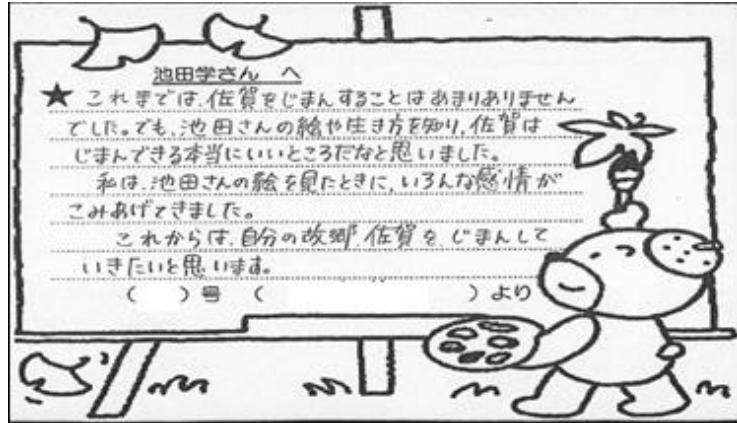
5 学習を振り返る。

- ◆配付しておいた「心の種」に記入するよう指示した。
- ◆電子黒板に「池田さんへのメッセージ」を投影した。

○あなたの「佐賀愛」を池田さんに伝えましょう。



これからは、佐賀を大切にしていって、佐賀の良さをどんどん見つけていきたい!



○今日の授業で心に残った友達の言葉を書きましょう。

- ・池田さんが佐賀から個展を開催したのを「自分のスタートだから」と言っていたので良かったと思います。
- ・「私は佐賀が好きだよ」ってさりげなく言っていて、佐賀に対する純真な気持ちがとても素敵だと思った。

○3名の「池田さんへのメッセージ」を紹介します。

- ・これまで私は、佐賀は何もない所だなあと感じていました。しかし、今回池田さんのことを勉強して、佐賀に愛を持ってそれを絵で伝えていることが分かりました。同じ佐賀県出身ということでこれからはいろいろな方法で思いを伝えていければいいなと思いました。
- ・池田さんの絵は、佐賀への愛が伝わってきました。私が思う佐賀は、暮らしやすいけれど、田なかで、何もないなと思っていました。だけど、池田さんの絵を見に行ったとき、佐賀がこんなにもすばらしいことに気がつきました。これからも、たくさんの絵を描いてください!
- ・僕はこれまで、佐賀への愛着があまりありませんでした。ですが池田さんの絵「誕生」を見て、すごく佐賀のいいところが分かりました。僕は池田さんの様な自分の生まれた場所や環境を愛せる人になりたいです。僕も自分なりに佐賀のいいところをいろんな人にアピールしていきたいです。



**6 授業後の取組**

- ・記述した「心の種」を教室の背面に掲示しました。
- ・「池田さんへのメッセージ」をアルバムにして、池田さんに届けました。

## 7 授業の振り返り

### ○視点Ⅰ「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させることができたか」について

- ・グループで意見交流をした上で、板書にウェビングで全員の意見をつなげて池田さんの「佐賀愛」について考えを共有し、分析しました。「池田さんへのメッセージ」の記述には、自分たちの郷土でもある佐賀について、「佐賀がこんなにもすばらしい」等、佐賀のよさに気付いた記述がありました。また、事前アンケートにおいて佐賀に愛着が「ある」と答えていた生徒が、「池田さんの『佐賀愛』にはかなわない」「池田学さんのような自分のふるさとを誇りに思える人になりたい」等、郷土を愛する態度について池田さんの郷土愛から考えを深めていると考えられる記述をしていました。これらのことから、グループや学級全体での意見交流を通して、生徒は郷土愛について多面的・多角的な見方へと発展させることができたと考えます。

### ○視点Ⅱ「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めることができたか」について

- ・導入において、佐賀への愛着や誇りについて事前アンケートの結果を提示したことで、今の自分自身について見つめるきっかけとさせることができました。
- ・佐賀出身の池田さんの生き方を題材としたことで、生徒は池田さんの生き方を通して、自分自身の郷土を愛する態度について考えを深めることができたと考えます。
- ・1学期の総合的な学習の時間において、自分たちの郷土について学習し、郷土をよりよくするための提案をしたことを終末で想起させました。他教科・領域での学習と結び付けたことで、生徒が「自分事」として本時の学習について捉えることにつながったと考えます。
- ・「池田さんへのメッセージ」を書く3つの視点の中に、「これまでの自分のこと」「これからの自分がしたいこと」を電子黒板で示したことで、生徒は視点に沿って、自分自身のこれまでとこれからのことに触れながらメッセージを記述することができました。